事務事業分析シート(平成30年度)

事務署	事業	ロード		05-04-0	1				略プラン		● 業		財務	〇人事
事務	事業	人		ゆいの柔	集あらかれ				果名 <mark>地</mark> 者名 榊	或文化スポーツ部	ゆいの森課	課長名 内線		小林 3750
事務事	業	を構成する	る小事	業名	01-0	2-01	事務管理	里費						
及び予	算	事業コー	ド (30	年度)										
		美の種類				年度 〇			〇建	設事業	•	それ以外	外の継	続事業
開始				和●平	成	28		根拠	荒川	区立ゆいの	森あらか	いわ条例		
終期記				無令基準内	1 ○ 叔	基準内	年度	法令等	計画		〇計		● 非	計画
			分里			金华内 創造都市		日空午			<u> </u>	<u> </u>	● ∄	可凹
		評価 体系	政領		活力	ある地域	コミュニ							
	**		施領			文化とコ					44.1		\	
				らかわの の充実を		[持管理(こより施設	設の長寿	命化を	図るとともに	こ、魅力	的かつり	・適で:	安心・安
目的	þ	エなり		v, li, , , ∈	മരം									
対象	者	ゆいの森	まあら;	かわ利用	者									
等	_													
		【開	設】:	平成29年	3月26日									
		【所 在	地】	荒川区荒										
				責】 4, 111㎡ 責】 10, 944㎡										
		┃【巡床順 ┃【構		^{10, 944} m 鉄筋コン		· 诰 地」	- 5階地下	1階						
内容	內容 【開館時間】午前9時30分~午後8時30分													
【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等														
		平成21年			設の設置									
		平成23年)あらか			設基本計	画策定					
		半成24年	平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 (仮称) 荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了											
		平成26年)荒川二						,			
経過	3	TT + 07 /r	10月		設の建設				→ - -	11 11 1 1	14-	医光车型		_
		平成27年 平成28年								-ザルにより 6月会議 :			《百 次》	E
				竣工			646		<i>></i> *\~	071 <u>Диж</u> и	人巨木门	1 10-1 70		
		T -500 5	12月		達成記念									
		平成30年			日年記念·									
. — I		-								全体の知とこ				
必要怕	生			喚、日的 生まれる				と栓映で	进して、	知の集積	で発信、	和に ひき	11的文	に活動の
		(<mark>2一部</mark>)		直営の均		告點	○北帝	勤 〇 臨時〕	神昌 /			
実旅	<u> </u>			・清掃・					₩ 非市	到 ∪ 師时!	似貝 /			
方法	Ė,	汉印州心口	נועוז	7H 1M		21X E 2= 3	८१म च	女 D L						
		古水古米	~ + F	田 し 十 フ・	北山市力			指標の推	移			+七.4赤.1 — 88	ı - - 7 =	× no
指		事務事業	(0) 成	未 と りる:	括 標名	27年度	28年度	29年度	30年度			指標に関	19 ବୈ	兄明 二
						27十汉	20-12	20 + 12	見込み	(38年度)				
	1	入館者数					15, 991	690, 094	800, 000	1, 006, 300	ゆいの森	まあらかわ	入館者	数
	<u>@</u>	区民一人当たりの経典(田)				022	0.45	000	ゆいのま	s 市 36 公 TE	弗・ル	·# □		
標	2 (4.1現在)					933	845	800	けいの彩	事務管理	复一社	- 本人口		
	3													
		事務:	事業σ)分類										
事務事業の分類 30年度 31年度				1		9	分類につ	いての説明	・意見等	等				
	30	- 1/2		V1-∓		施設全	全体のPR	を行い.	国内外的	の来館者が	利用しゃ	すい環境	竟を整	備する。
	4	# #		推過	É			• ·						
	推進			推入	<u>E</u>									
						1								

(単位:千円)

							\— \— I	<u> </u>
予算	・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算	額				-	-	181, 750	181, 518
決算	額(30年度は見込み)				-	1	147, 982	181, 518
実	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
績	修繕件数	0	0	0	0	0	3	0
の								
推								
移								
kk	\							

予算・決算の内訳

	平成28年度(決算)			平成29年度(決算)		平成30年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額 (千円)	
			旅費	近接地内外旅費	368	報償費	アドバイザー謝礼等	624	
			需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	45, 350	旅費	近接地内外旅費	620	
			役務費	電話・郵便・手数料等	6, 495	需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	51, 986	
			委託料	施設管理に係る業務委託等	89, 925	役務費	電話・郵便・手数料等	8, 630	
			使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	535	委託料	施設管理に係る業務委託等	118, 357	
			工事請負費	書架棚照明増設	2, 563	使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	1, 201	
			備品購入費	家具什器購入費	2, 746	備品購入費	家具什器購入費	100	

(単位:千円)

								(手)	
	勘定科目	28年度	29年度	差額		勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		27, 215			地方税		0	
	物件費		144, 892		<i>,</i> –	国庫支出金		0	
行	維持補修費		527		17 政	都支出金		0	
政	行 扶助費		0		収収	分担金及び負担金		0	
コス	政補助費等		0		7	使用料及び手数料		5, 053	
^	費減価償却費		256, 012			その他		2, 362	
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		1	行政収入合計(a)	0	7, 415	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額		8, 192		行政	枚収支差額(a)-(b)=(c)	0	429 , 423	0
算書	その他行政費用		0		金	融収支差額(d)		1 1, 510	
	行政費用合計(b)	0	436, 838	0	通常	常収支差額(c)+(d)=(e)	0	440 , 933	0
	特別費用(g)		0		特	別収入(f)		0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当	期収支差額(e)+(h)	0	440 , 933	0

主な行政費用は物件費と減価償却費であり、建物管理維持・保守等89,869千円、公共料金43,722千円、労働者派遣4,578千円などである。減価償却費は建物・工作物・備品等の減価償却である。また、行政収入の使用料及び手数料は駐車場使用料収入、カフェ、自動販売機の貸付料である。
・利用者が安心・安全な施設の運営を行う。

・快適な環境づくりを図るとともに、設備の適正な維持管理を行う。

課 題

状

題 点

問題占・課題の改善策

问起	は、「話題の以音束		
	平成29年度に取り組む 具体的な改善内容	平成29年度に実施した 改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	利用者が安心・安全で、より快適 な施設運営を実施する。	館内の照明やサインの追加設置を 実施し、来館者がより快適に過ごせ る環境を整備した。	引き続き利用者にとって安心・ 安全で快適な施設運営を実施する とともに、運営コストの削減につ いて検討する。
2			
3			
施他	(実施 <mark>0</mark> 区	未実施 <u>22</u> 区 不明	0 区)
施状	図書館、文学館、子どものための	施設が融合した、これ <mark>までにない新し</mark> l	ハコンセプトの施設である。

がの況実 ・平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について

況議 ・平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について 〜 会

・平成29年度 決特 サインの見直しについて ・平成29年度 決特 カフェの運営について 要質 台門

・平成29年度 予特 適切な施設管理について

		事務事業の成果とする指標名			指標の推	養		指標に関する説明	
指		事務事業の成果と 9 る拍標名	27年度	28年度	29年度	30年度 見込み	目標値 (38年度)	拍標に関する説明	
	1	事業開催数 (回)		12	332	350	400	ゆいの森で実施した事業数	
標	2	ボランティア活動者数			74	134	150		
	3								
	事務事業の分類								

分類についての説明・意見等 30年度 31年度 地域コミュニティ及び文化推進の新たな拠点として、三つの機能の融合 施設であることを生かした、様々な事業を実施するとともに、新たな文化 推進 重点的に推進 活動を企画・発信していく必要がある。

	NOZ (単位:千円)											
予算	・決算額等の推移		24年度	: 1 <i>:</i>	25年度	26	年度	27生	E度 I	28年度	29年度	30年度
予算					1 ,2				-	-	10, 036	8, 905
決算	額(30年度は見込み)								-	-	4, 395	8, 905
実	事項名(30年度は見込	<u>、</u> み)	24年度	: :	25年度	26	年度	27年	F度	28年度	29年度	30年度
績	事業開催数(回)									2	301	350
の	ボランティア活動者数(延ん	べ人数)								20	74	134
推												
移												
予算	・決算の内訳		1	ਹਾ 	:20左由	/ 2 由 学	÷ \			π († 20.4	生典 (文学)	<u> </u>
節	平成28年度(決算) 主な事項	金額(千円)	節	平风	:29年度 主な事		₽ <i>)</i>	金額(千円)	節		年度(予算) な事項	金額(千円)
川	工な事項	並領(十日)		ノベ	<u>エゆず</u> ント講師	-			報償費		·講師謝礼	2, 337
					ファ碑画 品費・印						で 神師的化	1, 044
					運搬・展え						・展示保険	
					展示制作		V-1 1	2, 601		企画展示		3, 768
					ポジウム						·備品購入	400
			7,0									
												立:千円)
	勘定科目	28年度			差額			勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費			, 385				方税			0	
行	物件費		3	3, 412		— 行		庫支出金	Ē		0	
政	維持補修費			0		—————————————————————————————————————	111	支出金	7 10 4		0	
	行 扶助費			0		<u> – Й</u>	力分	旦金及び負			0	
ス	政 補助費等			982		<u> </u> კ		用料及び引	F 数料		1 000	
	費 減価償却費 不納欠損·貸倒引当金繰入額			0				の他	€1 (a)	0	1, 003	0
計			2	0 2, 825		5 =	_	攻収入合 支差額(a)-(•	1, 003 1 5, 601	0
算	その他行政費用		025				又左额(a)-(又支差額		0	15, 601	U	
書	での他打成員用 行政費用合計(b)	0 16	6, 604				以义左		0	▲ 15, 601	0	
	特別費用(g)		10	0				又之歌(6))(u) = (0)	-	0	U
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				支差額(e)) + (h)	0	▲ 15, 601	0
/±	さた行動患用は物体患で、スペント、全面展集の運営経典2-047工円でもる。端助患のさた古山はスペント等									ベント等		
備考	の魅力 伊吟州でもて また にひゆうはゆいの本もとかれて明末していてだっずの末してもて											
-,,		* 4. + 414				JU	VIII 22	<u> </u>	N == 1 × 1	- 7		
問	・関係所管と連携した多根のもが会場で										>=++- Z .\\	もんぎ セ ス
題	・より多くの方が参加でき	さるよう	、小フノ	ア イ、	プ油動の	內谷	٦٠,	参加し*	(29 CVA	∓祖ので19	限別り 句必多	えいめる。
点												
課												
題												
问起	点・課題の改善策 											
	平成29年度に取り				成29年度						度以降に取	
	具体的な改善内	容		改	(善内容は	およて	が評価	西		具体的	的な改善内	容
	他部署と連携し、多くの	の区民が	参多多	くの関	具係所管 。	と連打	隽し	たイベン	/ 多	くの関係	部署と連携	し、来館
	加できる様々な分野のイク			多く実	と した。)				とって魅	力ある事業	運営を行
1	施することで、魅力あるが	施設運営	に						う。			
	繋げる。											
	幅広くボランティアを	募集し、	活 ボラ	ランテ	ティア活動	動ので	あり	方につい	\ 事	業の協同	実施を想定	した講座
	動しやすい環境を提供する	る。	て検討	対した	Ξ.						ボランティ	アの育成
2									を行	う。		
3												
册	(実施 0	区	 未実加		22	≥	<u> </u>	不明	1	0	区)	
施状況	, , , , , , ,		1.70%									
八の												
汽実												
況 議	 ・平成28年度 予特 ボ・ 	ランティ	アについ	て								
〜 会	・平成28年度 予特 オー	ープニン	グイベン	ト等に								
要質	・平成28年度 決特 ボー		アの活用									
旨問	・平成29年度 決特 事業		携したイ			につ	いて					
○状	・平成29年度 予特 魅:	カあるイ	ベントに	つい	7							

		声数声类の	出用しますと			指標の推	移		16.1年1-181-1-7 元公司
	指	争務争未の	事務事業の成果とする指標名 			29年度	30年度 見込み	目標値 (38年度)	指標に関する説明
	① <mark>遊びラウンジ利用:</mark> み)		ジ利用者数 (子どもの			39, 847	40, 000	44, 000	
	標	②体験キット質			15, 262	20, 000	25, 000		
		③ <mark>ワークショッ</mark>			2, 925	3, 500	4, 300	ワークショップ、校外学習の参加者	
I	事務事業の分類		分類についての説明・意見等					。	
	30年度 31年度				7	万規に ノ	いての説明	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
	重点的に推進		重点的に推進	充実を図	図ってい	くととも	に、未刻	kを担う子。	として、遊び・学びラウンジの どもたちに様々な体験を提供 極的に事業を進めていく必要が

あるため。

し、将来へ夢をはぐくむ場となるよう、積極的に事業を進めていく必要が

										NUZ
									(単位	: 千円)
予算•	決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	₹ 274	丰度 二	28年度	29年度	30年度
予算額							-	-	26, 634	21, 112
決算額	〔(30年度は見込み)						-	-	21, 316	21, 112
実	事項名(30年度は見込	<u>(</u> み)	24年度	25年度	26年度	₹ 274	丰度 二	28年度	29年度	30年度
績	-時預り者数(延べ人数))							2, 557	3, 000
の	本験キット等保有数(種	類)							17	22
推	交外学習等参加者数(延 _·	べ人数)							1, 451	1, 486
移										
予算・	決算の内訳									
	平成28年度(決算)			平成29年度	(決算)			平成304	年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	節 主な事項			節	È	な事項	金額(千円)
			賃金				賃金	保育臨時	持職員	0
			北京	/台書 =# ft =N -1			地造曲	=# 스ㅜ =64 4	1	254

	平成28年度(決算)			平成29年度(決算)	平成30年度(予算)			
節	節 主な事項 金額 (千円)			主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額(千円)
			賃金	保育臨時職員	380	賃金	保育臨時職員	0
			報償費	講師謝礼	154	報償費	講師謝礼	354
			需用費	消耗品費等	1, 571	需用費	消耗品費等	975
			委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	17, 631	役務費	通信アクセス料等	76
			償還金利子等	補助金返還金	1, 580	委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	19, 707

(単位:千円)

							\ I I	
	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費	0	22, 245	22, 245	地方税		0	
,_	物件費		19, 582		_. 国庫支出金		3, 266	
行	維持補修費		0		が 都支出金 政		3, 266	
政	行 扶助費		0		以分担金及び負担金		0	
	政補助費等		1, 734		λ 使用料及び手数料		0	
スト	費減価償却費		0		その他		2, 396	
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)	0	8, 928	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	0	6, 696	6, 696	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	4 1, 329	2 8, 941
算書	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0	
	行政費用合計(b)	0	50, 257	28, 941	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	4 1, 329	2 8, 941
	特別費用(g)		0		特別収入(f)		0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	4 1, 329	2 8, 941
		0	0	0		0	▲ 41, 329	▲ 28, 94

行政費用の物件費については、一時預かり委託料として13,641千円、イベント実施委託として3,990千円等で ある。また、補助費等については、主にワークショップ講師謝礼である。行政収入の国庫・都支出金については、子ども子育て支援事業の補助金であり、その他については一時預かり利用料である。

・利用者を飽きさせないよう、魅力ある遊具の定期的な入れ替えに向けて検討を行う必要がある。また、おもちゃの破損・紛失が多いため、大切に使ってもらうよう利用者に働きかけることが必要である。 考

点

課 題

・子どもたちの学びや体験の機会をさらに提供するため、幅広い分野で体験キットを充実させるととも に、ワークショップ等の実施回数の増加に向けて検討を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

1-176										
	平成29年度に取り組む 具体的な改善内容	平成29年度に実施した 改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む 具体的な改善内容							
1	遊びラウンジを安全に利用できるよう、ひろばの利用ルールを検証する。	日々の利用状況を踏まえて、ひろばの利用ルールを改定し、利用者に 周知した。	おもちゃの使い方等、利用者への声かけの仕方を検討する。							
2	今後必要な体験キットを検討し、 充実する。	子どもの利用状況を踏まえ、新たな分野の体験キットを追加した。	子どもたちが幅広く体験できるよう、多様な分野の体験キットを 追加するとともに、様々なイベントを企画する。							
3	安全に一時預りを実施しながら、 区民への周知に努める。	子どもの安全を第一に一時預かり を実施し、積極的に周知した。	一時預かり中の乳幼児がより安心して、楽しく滞在できる環境づくりを行う。							
_佐 他	(実施 <u>22</u> 区	未実施 0 区 不明	0 区)							
施状況の実	遊びラウンジは、国の事業である	「地域子 <mark>育て支援拠点事業」に基づき</mark> 第	実施している。							
況 (要旨)	・平成29年度 決特 乳幼児一時預力 -	かりについて								

事務事業コード 05-04-04 戦略プラン ● 協働 〇 業務 〇 財務 〇 人							人事											
事務事				中央図書館運営費						課名 3 3 4 3 4 3 8	地域	文化スポーツ			課長名		小林 2256	
車	業	た構成する	 -構成する小事			01-04	I-01	12 2 2 2 17 2 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17										
		事業コー																
事務事	業	きの種類	〇新	規事業	((○ 304	手度 O	29年度)	С) 建	設事業		•	それ以	外の継	続事	業
開始年	F度	Ŧ		和●平			28	根拠	区	書館	馆法、荒	川区:	立ゆし	ゆいの森あらかわ条例、				
終期討				無		- 1		年度	法令等				館条		荒川区立図書館館則			
実施基	<u></u> [2	<u> </u>		令基準内			-	●区独	自基準_	Ē	画回	区分		● 計	画	〇非	計画	
行政評価			<u>分</u> 野 政策				<u> 造都市</u> る地域	コミュニティの形										
争	苿	体系	施領				まのまちづくり」の推進											
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事態 開を行うことによって、子どもたちの読書環境の向上や区民の読書活動を推進し、利用者全体の課題が や生涯学習を支援する。																	
対象で等		図書館利用者、その他図書館等関係機関																
内容	○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、より専門的な資料から一般的な資料まで購入し誰でも利用しやすい環境を整え提供する。 ○30万冊規模の開架の書架等を活用し、特集コーナー等の設置やイベントとの関連資料を展示することで、図書資料を積極的に活用する。 ○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。 ○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行う。特に、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。 ○「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。 【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊 【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞紙																	
	昭和37年 3月 荒川図書館開館 平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働 平成10年 5月 南千住図書館開館 平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定 平成19年 3月 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定 平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始 平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画(第二次)」策定 平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画(第三次)」策定 平成28年12月 荒川図書館閉館 平成29年 2月 新図書館オンラインシステムへ変更 3月 中央図書館開館 多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動及び生涯学習等、生涯に渡り学ぶことによって、自																	
必要性	ŧΙ	り誄越を	: 解决	すること	מינכ	きざる:	塚現 つく	くりに必	安な争え	長でめ	る。							
+ **		(2一部	委託)		(直営の均	易合 O	常勤	〇非	常勤	助 <mark>O</mark> 臨	時職貞	員)				
実施 方法		図書館オ	-ンラ	インシス	テム	機器	保守委訂	壬、図書	装備委記	ŧなど								
75 124																		
		事務事業	の成点	果とする	指標	名			指標の						指標に関	まる	逆明	
指		Ŧ 1,7 Ŧ .*\		*C	10 1/1		27年度	28年度	29年度	30年 見込		目標値 (38年度		,		, , , , _,	106.01	
(1	区民1人	当たり	の蔵書冊	数()	点)		4. 01	4. 22	2 4.	. 41	4. 8	80 (全館)	蔵書点数	文÷住基	人口	
標	2	区民1人(点)	当たり	個人総貸	出点	数		8. 25	9. 64	1 9.	. 94	10.	. 0	全館)	貸出点数	文÷住基	人口	
③ おはなし会年間参加者数(人))			2, 325	3, (000	3, 60	00							
			事業の	D分類			分類についての説明・意見等											
30年度 31年度 重点的に推進 推進				「読書を愛するまち・あらかわ」を実現するため、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要がある。														

												No2
											(単位	<u> </u>
予算	・決算額等の推移		24年度	1	25年度	2	6年度	图 27年	丰度	28年度	29年度	30年度
予算	額								-	-	136, 150	132, 209
決算	額(30年度は見込み)								-	-	123, 564	132, 209
実	事項名(30年度は見込	<u>、</u> み)	24年度	ĦZ.	25年度	2	6年度	夏 27年	年度	28年度	29年度	30年度
績	入館者数(人)									15, 991	690, 094	700, 000
の	個人総貸出点数(点)									15, 115	690, 271	750, 000
推	特集コーナー設置数(回))								7	73	75
移	おはなし会開催回数(回))								0	74	75
予算	予算・決算の内訳											
	平成28年度(決算)			平成	29年度(決	算)			平成30:	年度(予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	節 主な事項 ^{金額 (千円)} 節 主な事項				な事項	金額 (千円)			
			賃金	臨時	職員賃金			6,898 賃金		臨時職員賃金		7, 182
			報償費	各種	講座講師	i謝礼 1		1, 172	報償	費 各種講座	E講師謝礼	2, 329
			需用費	図書	資料購入	費等	費等 49,280 需		需用	費 図書資料購入費等		48, 733
			役務費 配本車運行料			等 13,022			役務	計 費 配本車運行料等		13, 555
			委託料	図書館オン	ノラインシステム機	器保守	守委託等	23, 174	委託制	料 図書館オンライ	ンシステム機器賃借料	等 33, 540
			使用料及び賃借料	図書館才	ンラインシステムホ	機器賃	賃借料等	27, 470	使用料及び賃	借料 図書館オンライ	ンシステム機器保守委託	5等 26, 414
			備品購入費	備品	購入費			2, 447	備品購入	費 備品購力	人費	200
									,	•	(単位	立:千円)
	勘定科目	28年度	294	年度	差額			勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		80	0, 430			地	方税			0	
	物件費		12:	2, 290		7	_ 国	庫支出金	Ī		0	
行	維持補修費			0			都	支出金			0	

								\ + ।	7 ·]/
	勘定科目	28年度	29年度	差額		勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		80, 430			地方税		0	
,_	物件費		122, 290		<u>ہ</u> =	国庫支出金		0	
行	維持補修費		0		17 政	都支出金		0	
政	行 扶助費		0		収収	分担金及び負担金		0	
	政補助費等		1, 274		7	使用料及び手数料		0	
スト	費減価償却費		0		'	その他		544	
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		ll	行政収入合計(a)	0	544	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額		24, 211		行政	枚収支差額(a)-(b)=(c)	0	227 , 661	0
算書	その他行政費用		0		金	融収支差額(d)		0	
	行政費用合計(b)	0	228, 205	0	通常	的収支差額(c)+(d)=(e)	0	227 , 661	0
	特別費用(g)		0		特	別収入(f)		0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当其	朝収支差額(e)+(h)	0	227 , 661	0
	ナルに 北井 田は 畑川 井っ	七 1 次小店	# 1 # 0/ 00	00 T III 3	7 -	- 1 88 15	000 T III	コナキュアイル	110 C10 T

主な行政費用は物件費であり、資料購入費34,888千円、システム関係費用39,862千円、配本車運行料10,610千円、臨時職員賃金6,898千円等である。また、補助費はイベントでの講師謝礼等である。行政収入は、コピー 考 -ビス利用料となっている。

点

課 題

- ・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供する必要がある。
- ・サービスの向上に当たっては、行政コストとのバランスを考慮する必要がある。
- ・中央館と地域館との役割分担を整理し、各々特色ある図書館を運営していく必要がある。 ・館外視察や企画運営力向上のための研修の実施など、職員の能力向上を図っていく必要がある。
- ・図書館におけるボランティア活動のさらなる充実を図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

		平成29年度に取り組む 具体的な改善内容	平成29年度に実施した 改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む 具体的な改善内容
	1	特色のある区立図書館となるよう、中央館と地域館との役割分担に ついて整理する。	各図書館において、それぞれ分野を定め専門資料を収集し特色ある蔵書整備を進めるとともに、地域に根差した事業を実施している。	図書館における特色のあるサービスや俳句資料収集も含め内容について検討し、より多くの方の利用に繋がる施設づくりを進める。
	2	絵本コーナーの魅力向上のため、 フロア装飾等を行うとともに、絵本 に関する講座開催について検討し、 実施する。	魅力的に展示された書架づくりを 進めるとともに、おはなし会やボラ ンティア養成講座などを開催し、図 書館事業の充実を図った。	フロア装飾に加え、開架書架等 を活用した特集コーナーの設置や 他部署と連携したイベント関連資 料の展示を展開する。
	3	国内外の俳句資料を継続して収集 し、関係部署と連携し、保有資料を 活用した講座等についても開催す る。	関係部署と連携し、俳句資料を寄贈頂いている現代俳句協会による講演会を開催する共に、俳句ポストを館内に設置した。	職員の能力向上のための研修を実施するとともに、本の修理等養成講座を開催し、図書館に携わるボランティア活動の枠を広げる。
3	施状況の実	(実施 <mark>22</mark> 区 中央図書館については全区が設置 いる。	・ 未実施 <mark>0 区 不明</mark> し、子ども読書推進計画の策定、図書館	0 区) 館オンラインシステムが導入されて
1	温慧	│・平成26年度 予特 読み聞かせのキ	推准とボランティアについて	

況議 ・平成26年度 予特 読み聞かせの推進とボランティアについて 会 ・平成27年度 決特 運営方針等について

〈 会 要質

・平成27年度 11月会議 図書館機能の準備について ・平成29年度 決特 図書館システムについて ・平成29年度 決特 図書館通帳について

旨問

事務事業コード 05-04-05									戦略プラン ● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人							
事務事	丰美			吉村昭記	己念文学館	馆推進事	業運営費		部課名 地域文化スポーツ部ゆいの森課 課長名 リ 担当者名 田邊 内線 2							
事務事	業	を構成する	る小事業名		01-0	6-01	吉村昭訂	2念文学	館運営費	Ę		-				
		事業コー														
事務事業の種類 ○ 新規事業 (○				() 30	年度 O	度 ○ 29年度) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事										
開始年				和 ● 平	成	18		根拠	芸川	区立ゆいの		いわ条例				
終期記				無 無		+ '#	年度	法令等					▲ JL	=1 -		
実施基	본격	<u> </u>	〇 法 分里	令基準内 F V		基準内 創造都市	●区独	目基準	計画	区分	〇計	· <u></u>	●非	計画		
		評価	政領			の担制で ある地域コミュニティの形成										
事	業	体系	施領			文化とコミュニティの拠点づくり										
			代表	する作家	吉村昭	氏及び記	<u> </u>									
目的	7	に、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興												化振興に		
П	,	寄与する) ₀													
		区民等														
対象:	者	卢														
等																
					料の収集				究							
					示物の製				+ 17 IS 1			0150	× +++ == 1	=+ 34		
		〇講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発														
		〇文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営 〇ホームページ等での広報														
内容	:															
.,_			文学館エリア:約540㎡(ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む)													
		人館料: 	入館料:無料													
		平成 4年	· 5 B	主村昭	ド区尼学		宮 区役	近1階で	作品展開	開催 日暮	甲図聿館	生村昭 -	1—+			
		- 成 - 寸 平成16年			各図書館						포దョ찌	ш 1 1 нц —	. ,	以巨		
		平成18年	7月3	31日 吉	村昭氏逝	去 11月	文学的	館のあり	方に関す	する懇談会詞)			
		平成19年 1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置(~20年3月) 7月 講演会、企画展 平成20年 7日 (仮称) 吉村昭記令文学館推進委員会設置 7日 浪幅イベント 10日 企画展 謙演会														
ሪ⊽ ነቡ	,	平成20年 7月 (仮称) 吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年~26年度 企画展、講演会を年各1回実施														
経過	<u>0</u>	平成21年~20年度 正画展、講演会を年春1回美施 平成27年 3月 吉村昭記念文学館友の会設立、吉村昭記念文学館展示等検討委員会設置														
		平成29年3月26日 吉村昭記念文学館開館・開館記念企画展開催 (7月まで)														
		7月 日本文藝家協会共催シンポジウム 10月 第2回企画展開催(12月まで) 11日 5日 おしどり文学館協定締結式														
		11月 5日 おしどり文学館協定締結式 平成30年3月17日 落語会(学習院大学落語研究会)														
									\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	\- \ 1 - - 	. 	III III 1 - 7:	L	W A		
心無水	4									さらに広範ァ P Rにも寄 』						
必要怕	±	に高い。	- 11-11/	て派内り	9-2-6	、	317公人	1607日表 /火	(<u> </u>	- ベルン可-	7 90C	C 13. 55	必女	エルチ市		
		(2一部	禾红	1		古ヴのも		告點	〇 非常	曲 へ 吃吐!	中					
実施	<u>.</u>			労にサナ			場合 <mark>○</mark> N姿枚 た			勤 <mark>○</mark> 臨時〕 常勤職員を打		宝佐士 2		+ 1- 南		
方法	₹									₱動戦員で1 真撮影業務等			ے ے ر	ひに、守		
		1 333,000	- 70.70	0 1-10 0	3,2	I		123 (,,,,,	C140 00 >10 101	, C X # 5					
								指標の推	移							
指		事務事業	の成り	果とする	指標名	<u> </u>	20 (20 /	30年度	目標値	•	指標に関	する記	说明		
18						2/年度	28年度	29年度	見込み							
	1	事業の参	h⊓ ↓ ₩h	()		235	506	683	700	900	イベント	も護定へ	生の名	≽加者人数		
	U	事本の多。	л <u>/ у</u> х	. ()()		200	300	000	700	000						
155	2	文学館友	の会会員数(人)			350	735	404	420	500	吉村昭氏の功績や作品を広く周知る るための指標			広く周知す		
											2/200	7117x				
3																
事務事業の分類				分類についての説明・意見等												
30年度 31年度			度				カ短につ	いての説明	」							
3112									を通して荒れ							
重	占。	的に推進		重点的(こ推進					を図る。また						
王 .	/155 k	・ハー」正述		土州川	~ 1E YE	か、継続的に友の会会員を募集し館の運営をより一層充実させる。										

													No2	
													江:千円)	
		夬算額等の推移		24年度	Ę	25年度	26:	年度	274	丰度	28年度	29年度	30年度	
予算		(00 1 - 1 - 1 - 1								-	-	24, 263	24, 840	
	額	(30年度は見込み)									-	15, 780	24, 840	
実		事項名(30年度は見込	<u>、</u> み)	24年度		25年度	26:	年度_	_	年度	28年度	29年度	30年度	
績		業の参加者人数(人)		85 78				16		235	506	683	700	
の 14	文	学館友の会会員数(人)						20)	350	735	404	420	
推														
移	L,	1 m = 1 = 0												
<u>予算</u>	• 7,	央算の内訳 - ボポックを ウィンカーダン		1	- 	÷00 /= rit	/ >士 左 左	. \		1	 + 00.	ケウ /マケ\		
hh		平成28年度(決算)	A 47 (-1-)	h-h-	半月	29年度			+T (-1 m)	h-h-	平成30年度(予算)			
節		主な事項	金額(千円)	節	AK = 0 F	主な事			額(千円)	節		な事項	金額(千円)	
				報償費		展示解説図録 左窓思購る			466	賃金・報償		員・謝礼等	1, 602	
				需用費		存容器購入、			5, 760	需用費		器購入、印刷製	,	
				役務費		資料等運			2, 082	役務費		料等運搬費	4, 108	
				委託料		製作委託			5, 847	委託米			14, 432	
				使用料及び賃借料		権使用料			391	使用料及び賃値	1 1 1		1, 776	
				備品購入費		原稿等購	人賀		194	備品購入		高等購入費_	519	
				負担金及び交付金	丗修	受講料			40	負担金及び交付	掃●研修受討		48	
	ı	批合打口	28年度	= 1 20 <i>2</i>	- =	一子姑	_	#1	占利日		20左帝		主:千円)	
		勘定科目		丰度 0.760	差額			定科	1	28年度	29年度	差額		
		給与関係費 物件費			8, 769 5, 211			地方	<u>院</u> 支出组			0		
行				10, 2			一行	行都支		Ī		0		
政	<u></u>	維持補修費 <u>維持補修費</u>)			<u>、山 並</u> 金及び:	台中会		0		
⊐					569		— 収		並及び. 料及び:			1		
ス		政 補助費等 費 減価償却費 用 不納欠損・貸倒引当金繰入額		30)	— 入	その		丁蚁和		1, 564		
7						<u>'</u>	-		収入合計(a)		0	1, 565	0	
計	/ 13	賞与・退職給与引当金繰入額			5, 650	1	行		文収入百計(a) 支差額(a)−(b)=(c)		0		0	
算		その他行政費用		,	0, 000			金融収支差額(の			U	0	0	
書		ての他行政貨用		0 4	0 40, 199		_		文左 領(u) 差額(c)+(d)=(e)		0	▲ 38, 634	0	
	焅	別費用(g)		 	0, 133				入(f)	(u) - (0)	U	00,004	-	
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	- 0				<u>ノ ()</u> を差額(e) + (h)	0	▲ 38, 634	0	
		な行政費用は物件費であ	あり 内i	Ŭ		4							<mark>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</mark>	
備考		ントでの講師謝礼等でる									, 020] +	7 C 05 O 0 1 m	列貝16	
—— 問 題		ホームページや刊行物等福井県ふるさと文学館の											——— ∶の連携等	
点		見据えた事業の展開を行							_	•				
•		展示室を使用したイベン											0 0	
課	ŀ	友の会会員サービスの3	充実を図	り会員を	増や	し、文学	館の	応援[団を増	やすエ	夫をする。			
題														
	点	・課題の改善策												
		平成29年度に取り	<u></u> 組む		平	成29年度	に実	施 L.7	-		平成30年	度以降に取り	<u></u> ノ組す:	
平成29年度に取り組む 平成29年度に実施した 平 早体的な改善内容 改善内容および評価 平							ウスロース 的な改善内?							
		企画展やイベント等の	_	7 DVI		や協定締				/ -		ジ等を活用		
		正画展でイベント寺のはメディアに協力を仰ぎ									-			

問題,	題点・課題の改善策									
	平成29年度に取り組む 具体的な改善内容	平成29年度に実施した 改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む 具体的な改善内容							
1	企画展やイベント等の開催で、マスメディアに協力を仰ぎ、広報を行う。ゆかりある全国の地との連携により館を周知する。	DVD受賞や協定締結等の情報を広く 発信することでメディアに取り上げ られ、DVD販売数の増加や館の周知に 繋げることができた。	ホームページ等を活用し積極的に情報発信を進めていく。協定を締結した福井県ふるさと文学館との連携展示等の充実を図る。							
2	友の会の申込方法を検証し、入会 や更新時の負担軽減を図り、会員数 の増加を目指す。	企画展開催や刊行物の発行により、新規会員を増やすことができた。継続して入会してもらえるよう手続き方法等の見直しを図る。	他館の友の会の運営方法を参考 に、入会や更新手続きの簡便化に ついて検討する。							
3										
施状況の実	(実施 8 区 文学館設置区 新宿区、文京区、台東区、大田区、t	未実施 14 区 不明 世田谷区、渋谷区、杉並区、江東区	0 区)							
況(要旨)	・平成18年 三定 記念館の設置要望 ・平成23年 四定 文学館開館に向け ・平成26年度 予特 友の会の設立に ・平成27年度 予特 文学館の開館後	た事前周知について ついて								